

平成 25 年 6 月 7 日(金)、大分県佐伯市の株三浦造船所において、石炭灰運搬船「きぼう」が竣工しました。本船は、東京電力広野火力発電所 6 号機運開に伴う石炭灰輸送量の増加に対応するため、専用運搬船として建造しました。

最新鋭の航海計器と省エネ設備に加え、港内の操船性能が高いベックツインラダーと、船体損傷時復元性(ダメージスタビリティ)考慮した船艙構造を採用することで、安全と環境面に配慮した設計となっております。東日本を中心に、広野から石炭灰の輸送を、年間 50 航海程度予定しています。

船名の「きぼう」は、広野火力発電所が広野町の小中学生の皆さんから募集し、205 件の応募の中から決定しました。これから広野を拠点として運航する「きぼう」は、広野火力発電所の安定運転の一翼を担い、発電所の皆様のみならず、地域の皆様にも希望を届ける存在でありたいと思っています。

「きぼう」主要目	
全長	105.30m
型幅	17.50m
型深	8.55m
総トン数	4,614 トン
載貨重量トン数	4,500 トン
速力	約 13 ノット

